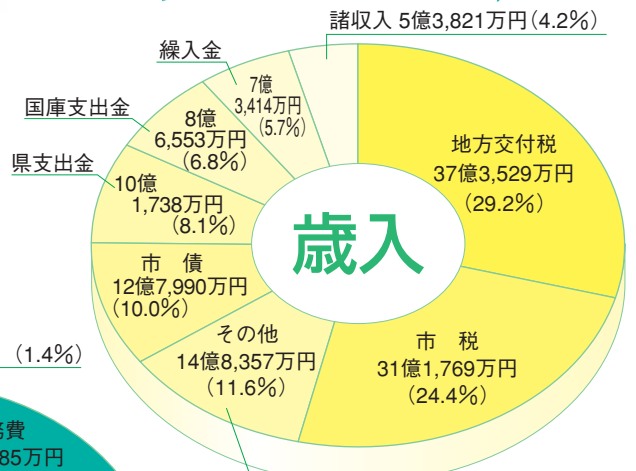


# 平成16年度の決算状況

市では、年2回市の財政状況を公表しています。今回は、平成16年度の一般会計・特別会計の決算状況をお知らせします。

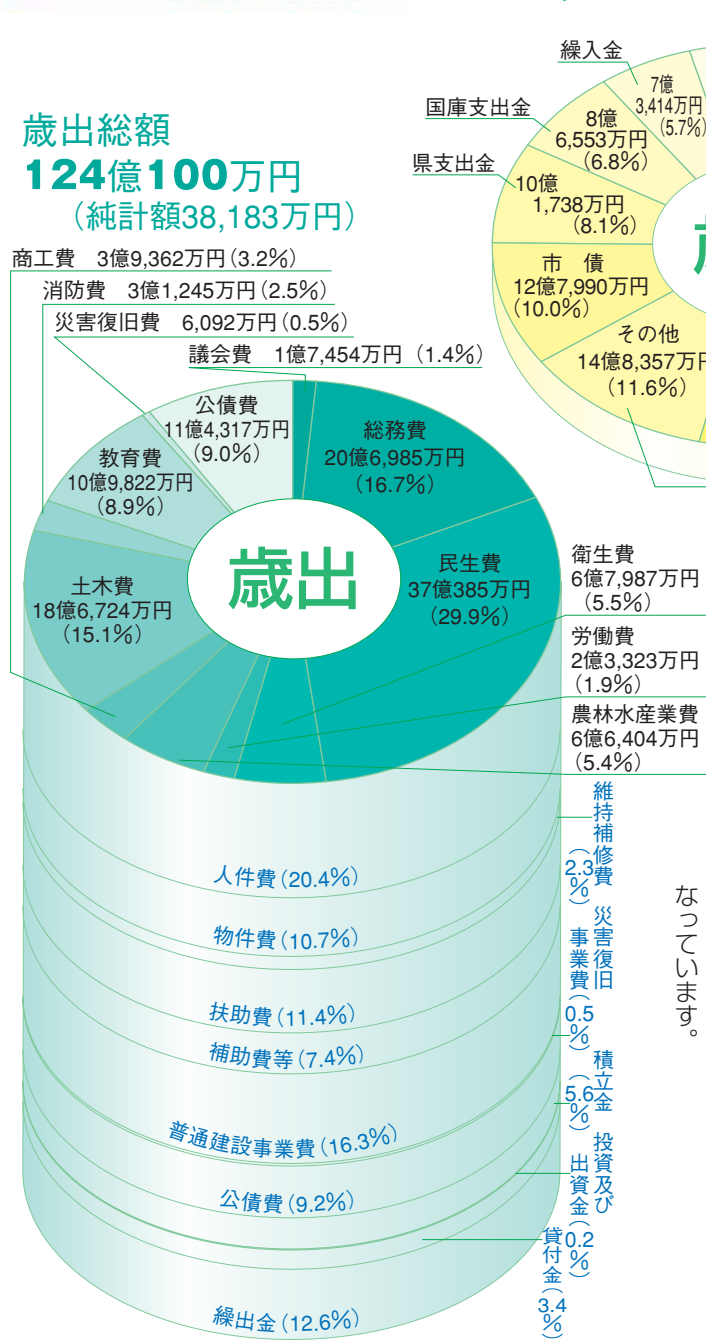
歳入総額 **127億7,171万円** (純計額38,183万円)



歳入の内訳 (純計額38,183万円)

線越金	3億3,066万円
分担金および負担金	1億5,727万円
地方消費税交付金	2億6,922万円
地方譲与税	2億4,229万円
使用料および手数料	2億877万円
地方特例交付金	1億669万円
自動車取得税交付金	1億272万円
利子割交付金	3,062万円
配当割交付金	520万円
株式等譲渡所得割交付金	522万円
財産収入	1,555万円
交通安全対策特別交付金	588万円
寄付金	348万円

一般会計 **124億100万円** (純計額38,183万円)



**総括**  
平成16年度勝山市一般会計決算は、歳入が127億7,171万円、歳出が124億1,000万円となり、歳入で5.5%の増、歳出で5.3%の増(前年度比以下同じ)となっています。歳入歳出の差引きのうち翌年度へ繰り越さなければならぬ財源352,400万円を引いた3億3,547万円が実質的な黒字となっています。

**歳入**  
市税の収入総額は31億1,769万円、66.3%の増、前々年度と比べると2.8%の減となっており、景気低迷の影響から5年連続の減となっています。自主財源は2億3,482万円の増となり、自主財源比率は40.0%となっています。地方交付税の決算額は、37億3,529万円、2億631,200円、6.6%の減となっています。

市債については、健康福祉センター「すこやか」建設などにより3億4,500万円の増となっています。

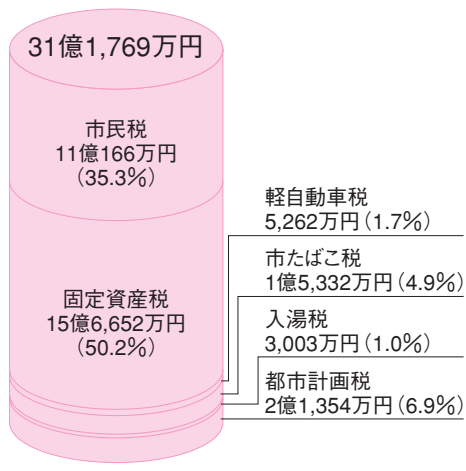
## 歳出

総務費は、ふれあい交流館管理運営費、選挙執行費、えちぜん鉄道支援事業費などを削減したものの、財政調整基金の積立金が1億9,934万円、40.8%の増となつたため47,300万円、2.3%の増となっています。財政調整基金残高は、267,900万円、3.3%減の7億9,188万円となっています。民生費は、健康福祉センター建設事業に9億2,789万円を支出したのをはじめ、児童手当給付費の増などで、7億5,001万円、25.6%の増となっています。衛生費では、職員人件費や廃棄物処理施設負担金の減などで、80,061万円、10.6%の減となっています。農林水産費は、林業構造改革事業の減などにより6,919万円、9.4%の減となっています。災害復旧費では、福井豪雨災害による復旧事業費により、51,099万円、520%の増となっています。

建設事業全体では、健康福祉センター「ふれやか」建設、まちなか整備などを推進し、20億3,327万円となっています。また、平成16年は市制が施行されてから50周年となり、半世紀の歩みを振り返り新たな時代を切り開く契機となるような記念事業を実施しました。事業内容は、記念式典、なんでも鑑定団誘致、くらしの礼儀作法発行、他6事業で事業費は、112,200万円となっています。

一般会計の市債残高は、102億5,132万円となり2億3,433万円、2.0%の増となっています。このうち臨時財政対策債を除いた残高は86億3,902万円で、2億4,547万円、2.8%の減となり、4年連続の減となっています。

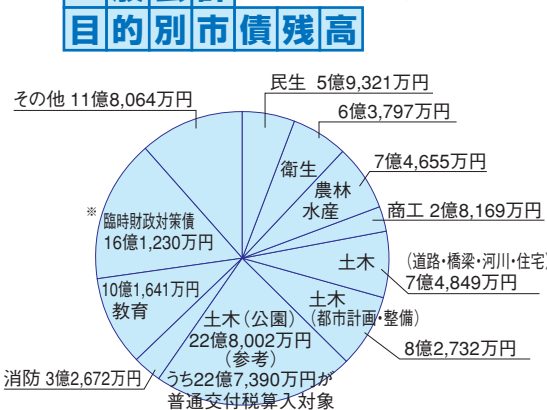
## 市税の収入状況



## 市債残高の状況

一般会計	102億5,132万円
特別会計	196億705万円
下 水道 事 業	74億3,515万円
簡 易 水 道 事 業	7億7,252万円
農 業 集 落 排 水 事 業	10億7,987万円
市 有 林 造 成 事 業	6,819万円
合 計	196億705万円

## 一般会計 合計102億5,132万円 目的別市債残高



## 指標でみる財政事情

	勝山市 (速報値)	経常収支比率	公債費比率	起債制限比率	財政力指数
16年度	勝山市 (速報値)	88.1%	12.5%	7.9%	0.483
	県内8市平均 (速報値)	87.3%	14.2%	9.8%	0.692
15年度	勝山市	86.1%	12.1%	7.6%	0.485
	県内8市平均	84.7%	14.0%	9.5%	0.697

【平成15、16年度地方財政状況調査より (指標はすべて普通会計決算)】

財政を圧迫していないかどうかを示している。

【起債制限比率】国が算定した個々の市町村の規模にふさわしい標準的な一般財源の規模を標準財政規模といい、これに対する公債費の割合を起債制限比率という。この指標は現在借りている市債が妥当かどうかを判断するものである。この数値が20%を超えると、市債の新規発行に制限が加えられる。

【財政力指数】地方公共団体の財政力をあらわしたものの。1に近くあるいは1を超えるほど、財政に余裕があることを示している。

裕)をあらわしたものの。70%~75%が妥当であるといわれている。歳出のうち人件費や物件費、公債費など、毎年必ず支払う経費を経常的経費という。また、市税や地方交付税など毎年常に入ってくる財源を経常一般財源という。この使い道が自由な経常一般財源のうち経常的経費に充てられる割合が経常収支比率となる。比率が低いほど自由に使える資金が多いことになる。

【公債費比率】公債費とは市債等の返済金である。この返済金が一般財源に占める割合を公債費比率という。この指標は毎年の償還金が地方公共団体の

## 特別会計

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差し引き
育 英 資 金	3,844万円	3,836万円	8万円
都市計画土地区画整理事業	137万円	137万円	0万円
下 水 道 事 業	19億9,794万円	19億8,817万円	977万円
簡 易 水 道 事 業	8,246万円	8,246万円	0万円
国 民 健 康 保 険	22億6,297万円	21億4,928万円	1億1,369万円
老 人 保 険	37億6,735万円	37億4,807万円	1,928万円
介 護 保 険	19億5,378万円	19億2,832万円	2,546万円
勝山温泉センター	9,545万円	9,545万円	0万円
農業集落排水事業	3億8,397万円	3億8,155万円	242万円
市有林造成事業	3,349万円	3,310万円	39万円

## 市有財産の状況

(平成17年3月31日現在)

建 物	14万1,618㎡
土 地	2,229万4,141㎡
立 木	22万5,526㎡
基 金	
現金・預金等	24億2,150万円
(うち財政調整基金)	7億9,188万円
(うちその他の基金)	16億2,962万円
土 地	5,313㎡
そ の 他	60万円
有 価 証 券	3億1,400万円
出 資 金	5億3,831万円
債 権	2億9,188万円

## ※用語解説

【自主財源・自主財源比率】市が自主的に収入しうる財源。具体的には市税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、線入金、繰越金、諸収入をいう。また、総収入額に占める自主財源の割合を自主財源比率という。比率が100に近いほど財源の自主性が高いことを示している。

【臨時財政対策債】交付税を自治体に交付するために必要な財源に不足が生じた場合、国が一括して不足相当額を借り入れる従来の方式を改め、地方が直接借り入れる方式に切り替えられた地方債。国から交付される普通交付税の一部をこの臨時財政対策債に振替えることとなる。

【財政調整基金】年度間の財源の不均衡を調整するための積立金。一般家庭の貯金にあたるもの。

【経常収支比率】財政構造の弾力性 (余